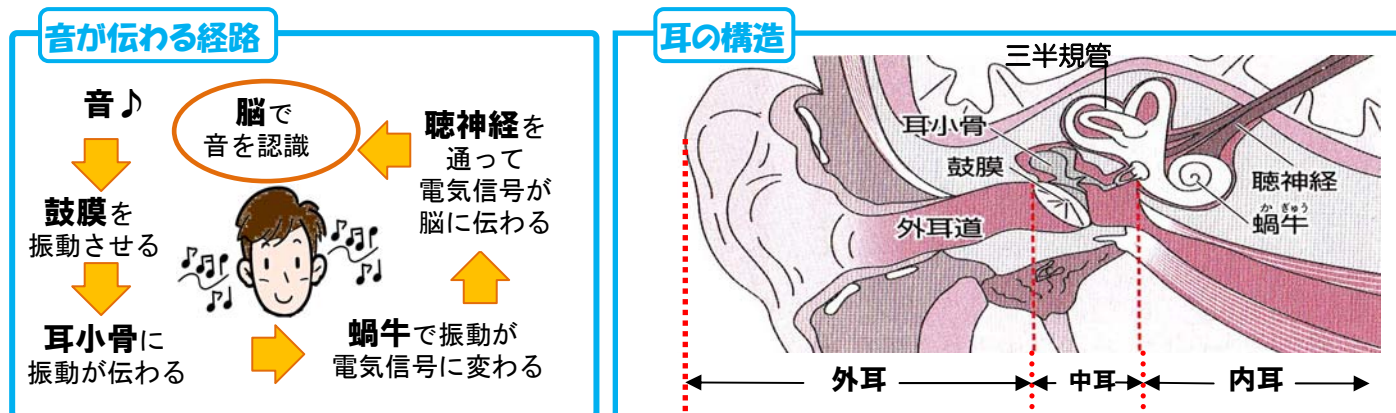


耳のトラブル～耳鳴り～

耳の病気や聴神経などに原因があって「ジー」「ピー」などの不快な音が聞こえる耳鳴り。耳鳴りには早めの対処が肝心です。早期治療で改善するものと、「原因がわからない」「原因となる病気の治療が難しい」などの理由で“消せない”ものがあります。

★ 音が伝わる経路と耳鳴り



耳鳴りとは

耳鳴りは、耳の病気・聴神経や脳の障害・加齢・疲労の蓄積・ストレスなどが原因となり、音が伝わる経路のどこかに障害があると起こります。

音の伝わる経路には、音の情報を感知する「蝸牛」、平衡感覚をつかさどる「三半規管」があるので、耳鳴りには、難聴、めまいが伴うことが多いです。

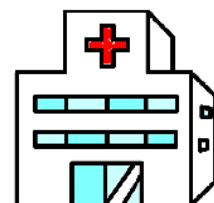
★ 耳鳴りを起こす代表的な病気

- ◆ 耳垢（みみあか）の詰まり・・・何らかの理由で外耳道を耳垢がふさいで詰まらせる。
- ◆ 中耳炎・・・中耳に細菌感染などでおこる炎症。
- ◆ 加齢性難聴・・・加齢に伴って起こる難聴。
- ◆ 突発性難聴・・・原因は不明で、突然起こる難聴
- ◆ 聴神経腫瘍・・・聴神経にできる腫瘍。耳鳴りがきっかけで発見される事がある。
- ◆ 大きな音や騒音による難聴・・・大音量で音楽をきいたり、騒音のもとで長期間就業することにより起こる難聴
- ◆ 脳梗塞・脳出血の前触れ、後遺症



★ 耳鳴りで受診が必要なとき

- ◆ 耳鳴りがあって、「鳴り続ける」「耳がふさがる感じがする」「会話や音が聞き取りにくい」場合
早期に治療を受ければ改善される場合もあります。
- ◆ ストレスがきっかけとなって耳鳴りが非常に気になる場合
「耳鳴りのせいで寝つきが悪い」など、日常生活や仕事に支障をきたしてしまう状態。



★ 耳鳴りの受診科

原則として耳鼻咽喉科を受診しましょう。

耳鼻咽喉科で検査や診察を受けて「異常なし」といわれ、耳以外の場所に原因があると判断された場合は、それに適した診療科（脳神経外科、内科、心療内科など）の受診を勧められます。

※なお、1日に数回耳鳴りを感じたり、静かな部屋にいるときに耳鳴りを感じる事がありますが、生理的に起こる耳鳴りなので、心配はいりません。

★ 耳鳴りの治療

必要なのは、日常生活や仕事に支障をきたさないようにすることです。

苦痛がなくならない場合はより専門的な治療（薬物療法・カウンセリングなど）が行われます。焦らず治療を続けていきましょう。